



# 先祖への侮蔑

**開始条件:** レベル5のバーサーカー

**目的:** 《アイノックスの死霊術師》を倒す

## 序幕:

最初は、街中に長く居過ぎたせいかと思った。脅迫的な不安が募り、耐えきれなくなるのだ。

だがやがてその原因が、うんざりするほど障害だらけの対人交渉ではなく、故郷の森に対する奇怪な脅威、すなわち荒野での騒乱が自分の心を乱しているせいなのだと悟った。

急ぎ部族の元に戻り、何が起きているのかを突き止めた。みな、敵対アイノックス部族の死霊術師について口々に語った。そいつが近く墳墓を荒らした。この村を襲撃するために、死体を集め始めたのだ。

強烈な怒りが、心の奥底で燃え上がった。この不敬な侮辱行為は、先祖の安息地を冒瀆するに留まらず、我が部族を脅すのだ?

無言で斧を持ちあげ、森の中に進んだ。この侮辱に対するツケは、そいつが流す血の雫一滴一滴で支払わせてもらおう。

## 特別ルール:

扉①は施錠されています。この扉①は、最初の2つの部屋にいる敵がすべて倒されたときに開きます。



霧は晴れ、目の前に現れたのは屈強なアイノックスだった。全身を、さまざまな種族の頭蓋その他の骨で飾っている。

「儂の増大する力に挑もうとは、どんな若造だ?」君は、そのアイノックスに対して、自然界の秩序を乱すことについて一通りののしる。だが、そいつは笑った。

「お前とて、街の強烈な悪臭をまとっているではないか。そのなりで儂に、自然について説こうとはな?」彼は嘲笑った。「お前が死んだら、儂が燃やして灰にして進ぜよう。お前など、儂の栄えある軍に迎え入れるに値しないわ」

## 特別ルール:

アイノックスのシャーマンこそが《アイノックスの死霊術師》です。それが君に負の状態を適用することになったらいつでも、そうするかわりに《アイノックスの死霊術師》は、通常モンスターの生ける屍者を1体召喚します。



生ける屍者



生ける骸骨



カルト信者



アイノックスのシャーマン



負傷の屍 (×4)



茂み



切り株



丸太 (×2)



樹木 (×2)



使用する地形タイル:

G1a  
M1b  
C2a  
D1b

15



終幕：

斬りつけると、死霊術師は倒れた。だがそれだけでは、この憤りは収まらない。衝動的な怒りをこめて雄叫びをあげる。そして倒れた死霊術師を、何度も何度も切り刻んだ。死体は完全にズタズタになっていった。

不死の軍団が、いつ塵に戻ったのか、その同盟者がいつ森の中に逃げ出したのか、まるで気づいていなかった。唯一気がついたのは、四肢に残った最後のエネルギーを使い切り、血まみれの地面に崩れ落ちるときだけだった。

十分休息をとり、怒りの赤い霧が目の前から晴れたあと、叩き潰された敵の頭蓋を見下ろした。そして、ゆっくりと仕事を始める。そいつの皮膚と腱を引き離したあと、そいつの骨で、恐るべき仮面を作り出した。これは、自分の部族のあらゆる敵に対して、自分の部族を軽々しく扱わないようにという警告なのだ。

報酬：

アイテム 145 番〈死の仮面〉

